

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

礼・義・廉・恥の倫理・道徳に立ち返る 数土 文夫 (JFEホールディングス名誉顧問)

- この頃、日本人から旺盛なエネルギーが感じられなくなったことに、私は強い危機感を抱いています。ここで、先賢の英知に照らして現状打開のヒントを探ってみましょう。今から2500年以上前の中国春秋時代に管仲(管子)がいました。管仲の目的は、倫理・道徳で意識の高い国家・世界を構築することでした。
- 管仲は、次のように説いています。「国に四維あり。一維絶ゆれば則ち傾き、二維絶ゆれば則ち危うく、三維絶ゆれば則ち覆り、四維絶ゆれば則ち滅ぶ」「何をか四維と謂う。一に曰く礼、二に曰く義、三に曰く廉、四に曰く恥」。四維とは国を四方から引っ張って支える四本の綱であり、これを失えば国が滅ぶと説いています。そして礼・義・廉・恥の四本の綱について次に解説しています。
- 第一の礼は、節度を守ること。第二の義は、自己宣伝をしないこと。第三の廉は、自己の過ちを隠さないこと。第四の恥は、他人の悪事に引きずられないこと。そして国家ばかりでなく、地域も企業も個人も、四維の有無が盛衰を決めることを心に刻まなければなりません。人類はいま、格差の拡大や気候変動など、世界の存亡に関わる諸問題に直面しています。いまこそ、礼・義・廉・恥に代表される人間の倫理・道徳に立ち返ることが重要です。

(参考:「致知」2021年7月号)

人事・労務について

依存から自立へ(新常態の働き方)

磯貝 高行(日経ビジネス編集長)

- リーマン・ショックの後に提唱された「ニューノーマル(新常態)」という言葉は、危機から回復して以前の姿に戻ることはなく、世界が全く別のものになっている状態を指します。働き手の意識も大きく変わりました。就職先選びで「会社の将来性」を重視する新入社員はすでに1割未満。自分の能力や個性が生かせる会社を最優先で選び、定年まで同じ会社で働く意識は希薄です。
- 企業がメンバーシップ型雇用からジョブ型雇用にかじを切るのも、こうした背景があります。「自ら機会を創り出し、機会によって自らを変えよ」。創業者の江副浩正氏が作ったリクルートの社訓です。会社から与えられるのではなく、自ら成長の機会をつくる。企業が自立した個人の集合体であれば、どんな危機にも負けないはずです。

(参考:「日経ビジネス」:2021年5月17日号)

経営者のための社会・経済学

日本はこう変わる(2023年~2040年)

- 2023年…(1)総世帯数がピークに(5419万世帯)(2)75歳以上の人口が2000万人を超える(3)100歳以上の高齢者が全国で10万人を超える(4)「空飛ぶクルマ」事業スタート。
- 2025年…(1)男性の厚生年金開始を65歳に引き上げ(2)65~69歳の就業率が51.6%に(19年48.4%)(3)ロボット市場規模3214億円(21年1575億円)
- 2030年…(1)全高齢者世帯の7割近くが単身か夫婦のみに(2)AI等による職業の代替が進む等により、従業員数が735万人減少(注)2033年インドネシア、実質GDPで日本を抜き、世界4位に(日本は5位)
- 2035年…(1)全都道府県で総人口が減少
- 2040年…(1)産業別就業者数で医療・福祉が卸売・小売を上回り、製造業全体に比肩するほど増加。

(参考:「週刊東洋経済」2021年5月1・8日号)

古典に学ぶ

道徳は朝に晩に始終ついておる

(解説) チョットと品物を売るについても、道徳はその間に含んでおる。ゆえに道徳というものは、朝に晩に始終ついておるものである。しかるに道徳を大層むずかしいものにして、隅の方に道徳を片付けて置いて、さて今日からは道徳を行うのだ、この時間が道徳の時間だというような億劫なものではない。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)